

平成 14 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 オリンパス光学工業株式会社
代表者名 取締役社長 菊川 剛
上場取引所 東証・大証 第一部
コード番号 7733
本社所在地 東京都渋谷区幡ヶ谷 2 丁目 43 番 2 号
(本社事務所 東京都新宿区西新宿 2 丁目 3 番 1 号)
問合せ先 経理部長 渡辺和弘
TEL 03-3340-2151

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 14 年 5 月 20 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

[] 連結業績予想の修正について

1. 平成 15 年 3 月中間期 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	254,000	13,000	7,000
今回修正予想(B)	260,000	26,000	13,000
増減額(B-A)	+6,000	+13,000	+6,000
増減率	+2.4	+100.0	+85.7
前期(14年3月中間期)実績	248,073	11,844	6,204

2. 平成 15 年 3 月期 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	562,000	37,000	20,000
今回修正予想(B)	570,000	47,000	25,000
増減額(B-A)	+8,000	+10,000	+5,000
増減率	+1.4	+27.0	+25.0
前期(14年3月期)実績	528,415	31,435	10,279

[]理由（連結業績）

- 平成15年3月中間期（平成14年4月1日～平成14年9月30日）
好調なデジタルカメラ及び内視鏡の販売増を主因として売上高が当初予想よりも増加するとともに、映像分野を中心とした製品原価の低減により、経常利益及び当期純利益は当初予想に比べそれぞれ100%、86%の大幅な増益となる見込みであります。
- 平成15年3月期（平成14年4月1日～平成15年3月31日）
下半期は世界経済の伸び悩みによる更なる価格競争の激化が予想されるものの、売上高は当初予想を上回る見込みであります。経常利益及び当期純利益は当初予想に比べそれぞれ27%、25%の増益となる見込みであります。

[]業績予想（単独）の修正について

- 平成15年3月中間期（平成14年4月1日～平成14年9月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	165,000	9,000	5,000
今回修正予想(B)	165,000	16,600	7,800
増減額(B-A)		+7,600	+2,800
増減率		+84.4	+56.0
前期(14年3月中間期)実績	172,389	10,165	5,534

- 平成15年3月期（平成14年4月1日～平成15年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	360,000	26,000	15,000
今回修正予想(B)	360,000	30,000	15,000
増減額(B-A)		+4,000	
増減率		+15.4	
前期(14年3月期)実績	328,268	17,755	5,062

[] 理由（単独業績）

1. 平成 15 年 3 月中間期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日）
映像分野を中心とした製品原価の低減により、経常利益は当初予想に比べ 80% を超える増益となる見込みであります。また当期純利益は、株式市況の低迷による有価証券評価損等の発生により当初予想に比べ 56% 増益に留まる見込みであります。

2. 平成 15 年 3 月期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）
下半期は国内消費の低迷による更なる価格競争の激化が予想されますが、上半期の増益が寄与し、経常利益は当初予想に比べ 15% 増益となる見込みであります。

以 上